

提供日 2025/4/21 14時

タイトル 科学雑誌『Nature』に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されました。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともにつくる信頼と安心の医療～

科学雑誌『Nature』に

ちかし
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されました。

「変形性関節症の遺伝子座位を962カ所発見」

～大規模国際ゲノム解析で高齢化社会最大の課題に迫る～

1 要旨

静岡県立総合病院の寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授）らの研究論文が科学雑誌『Nature』オンライン版（日本時間4月9日）に掲載されました。

2 研究タイトル

Large-scale genome-wide analysis identifies 962 risk variants and translational opportunities for osteoarthritis

3 研究概要

今回、共同研究グループは、変形性関節症のゲノム解析のための国際コンソーシアムに参加し、アジア人（主に日本人）の解析を行い、変形性関節症の原因となる可能性が高い遺伝子700の特定に貢献しました。489,975人の変形性関節症患者と1,472,094人の対照のデータを用いたゲノムワイド関連解析の国際メタ解析を実施し、新しい513カ所を含む計962カ所の疾患感受性多型を同定しました。またそこから、286カ所の疾患に関わる遺伝子領域を同定しました。そのうち176カ所は今回初めて発見されたものでした。

変形性関節症は、膝関節、股関節、脊椎をはじめ、全身のあらゆる関節を侵し、痛みなどのために患者の生活の質、健康寿命、生命予後に大きな影響を与えるため、要介護となる最大の原因です。患者数は世界的に急速に増加しており、世界で3億人以上、日本でも1,000万人が罹患しています。社会の高齢化に伴い2050年までには世界で10億人に達すると推定されていますが、有効な治療薬はまだ見つかっていません。

本研究成果は、人類の大きな課題となっている変形性関節症の原因、病態の解明、治療法の開発、予防に関する医学研究の基盤になることが期待されます。

4 その他

理化学研究所、静岡県公立大学法人静岡県立大学、島根大学、順天堂大学から共同リリースしております。詳細は添付資料をご参照ください。

(問合先) 静岡県立総合病院 総務課 静岡市葵区北安東4-27-1 電話:054-247-6111 (代)